

公益社団法人愛知県医師会 第33回(定例)理事会議事録

開催日時：平成26年1月30日(木) 午後2時30分～午後4時25分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤 宣夫 横井 隆

理事／稲坂 博 可世木成明 市川 朝洋 吉田 貴 伊藤 健一

城 義政 加藤 雅通 大輪 芳裕 西山 朗 檜尾 富二

樋口 俊寛 伊藤富士子 瀬瀬 雅明 細川 秀一

監事／加藤 茂 丹羽 巽 岩瀬 敬紀

代議員会議長／杉田 洋一

代議員会副議長／藤原 誠治

欠席者 松尾 清一

議事録作成者 横地 宏和

※城理事遅刻の為、承認事項1～協議事項11については、22名にて審議した。

※稲坂理事、報告事項8より退席。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者23名(うち理事18名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

議 事

一承認事項一

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

①糖尿病 Up・Date 賢島セミナー準備委員会(代表者 堀田 饒)主催の第31回糖尿病 Up・Date 賢島セミナー〔8/23(土)～8/24(日)〕の後援について
市川理事より説明があり、承認された。

②安城市医師会主催の市民公開講座〔3/1(土)〕の後援について
市川理事より説明があり、承認された。

③特定非営利活動法人キャンサーネットジャパン(理事長 岩瀬 哲)主催のがん医療セ

ミナー〔7/24(木)〕の後援について
市川理事より説明があり、承認された。

(2) 第22回日本集中治療医学会(会長 中川 隆)の主催の第22回日本集中治療医学会東海北陸地方会〔6/14(土)〕の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

(3) 社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院てんかんセンター(センター長 山本貴道)・中日新聞社(代表取締役社長 小出宣昭)共催のてんかん市民公開講座・個別相談会〔4/26(土)・4/27(日)〕の後援について

市川理事より説明があり、承認された。

(4) 平成25年度 児童虐待対応医療機関連携推進会議の委員の推薦について

市川理事より説明があり、細川理事の推薦が承認された。

(5) 名古屋刑務所視察委員会委員候補者の推薦について

市川理事より説明があり、標記委員会委員の候補者が承認された。

(6) 岡崎医療刑務所視察委員会委員候補者の推薦について

市川理事より説明があり、標記委員会委員の候補者が承認された。

2. 日医代議員と本会役員との合同協議会〔2/27(木)〕開催について

(愛知県医師会主催：5階医師連盟会議室)

市川理事より説明があり、標記協議会の開催が承認された。

柵木会長より、日医代議員会での個人質問があれば提出するよう役員へ依頼された。

3. 平成26年度愛知県看護功労者表彰受賞候補者(案)について

市川理事より説明があり、11名の推薦候補者が承認された。

4. 県立学校における健康診断における健診機関の負担金について

吉田理事より説明があり、県立学校の健康診断における精度管理について、今年度は本会負担で事業を行ってきたが、平成26年度については、1機関あたり6万円と消費税を負担金として徴収することが承認された。

伊藤(健)理事より、入札の際に精度管理を受けることが条件であるか質問され、吉田理事より、精度管理を受けることを条件とし、説明も行っていると回答された。

5. 難病相談室患者・家族のつどい「難病患者さんの就労についての勉強会」〔3/10(月)〕について

(愛知県医師会主催：6階研修室)

大輪理事より説明があり、標記勉強会の開催が承認された。

6. 日本医師会認定産業医研修会〔平成26年4月～平成26年9月分〕開催について
西山理事より説明があり、実地研修について一部調整中の箇所はあるが、標記研修会の開催が承認された。

7. 各種委員会・部会について

A) 第10回 愛医総研委員会〔3/14(金)〕開催について
(5階医師連盟会議室)

伊藤(健)理事より説明があり、標記委員会の開催が承認された。

—協議事項—

8. 平成25年度「医療政策シンポジウム」参加者派遣について
柵木会長より、標記シンポジウムの開催について案内された。

9. 平成26年度事業計画(案)について

山本副会長より平成25年度事業計画との変更点について説明があり、承認された。
また、第170回(臨時)代議員会にて報告することも併せて承認された。

柵木会長より、「予防接種の広域化に関する事項の推進」を「予防接種の広域化に関する事項」に修正。市川理事より、「愛知県広域災害・救急医療情報システム及び救急医療情報センターの運営管理→関係行政との医療の連携構築」を「愛知県広域災害・救急医療情報システム及び救急医療情報センターの運営管理」に修正するよう発言され、承認された。

10. 平成25年度補正予算(案)について

可世木理事より平成25年度補正予算(案)について説明があり、承認された。また、第170回(臨時)代議員会にて報告することも併せて承認された。

11. 平成26年度予算(案)について

可世木理事より平成26年度予算(案)について説明があり、承認された。また、第170回(臨時)代議員会にて報告することも併せて承認された。

12. 平成26年度会費の賦課徴収、会費減免申請及び入会金の賦課徴収について

可世木理事より平成26年度会費の賦課徴収、会費減免申請及び入会金の賦課徴収について説明があり、資料の内容で第170回(臨時)代議員会に上程することが承認された。

柵木会長より、高齢会員の会費減免について質問され、可世木理事より、申請に基づいて減免の処理が行われると回答された。

伊藤(健)理事より、会費減免者の医賠償保険加入に関して質問され、柵木会長より、加入者については保険料を支払っていると回答された。

13. その他

—報告事項—

1. 日医理事会〔1/21(火)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

柵木会長より、理事打合会では、「不正事案等に対する対応について」、「無資格者による医療行為等の防止について」、「『日本医学会連合』の法人格取得について」、「勤務医、女性医師役員枠について」、「ファンドによる医療機関の経営について」、「看護師養成について」が検討され、理事会では「定款一部改正」について等が協議されたと報告された。

樫尾理事より、定款・諸規程検討委員会にて、「勤務医、女性医師役員枠について」検討されたが、選出方法については執行部へ一任となったと発言された。

柵木会長より、理事枠を2名増やすことを決定したのみで、選出方法については来期の新執行部で決定予定であると発言された。

2. 日医医療政策会議〔1/23(木)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

柵木会長より、テーマに沿って講演が行われたが、このような会をクローズドな会でやるべきか検討が必要であると報告された。また、医療政策会議の報告書が作成されたら、役員へ配付すると発言された。

3. 東海北陸地方社会保険医療協議会愛知部会〔1/27(月)〕について

(東海北陸厚生局主催：東海北陸厚生局)

柵木会長より、指定について問題になることは無かったと報告された。

4. 愛知県医師会立名古屋助産師学院合否判定会議〔1/22(水)〕について

(愛知県医師会立名古屋助産師学院主催：801会議室)

山本副会長より、1月10日(金)に実施された、平成26年度入学試験の結果について協議が行われた。合格者は、社会人入学試験9名、一般入学試験12名の計21名、補欠合格者8名であったと報告された。

柵木会長より、社会人枠の合格者を増やして欲しい旨要望され、市川理事、伊藤(健)理事より、社会人の学生について意見を述べられた。

5. 平成25年度「自治体防災部局等との連絡会同〔1/21(火)〕について

(陸上自衛隊第10師団司令部主催・陸上自衛隊守山駐屯地)

稲坂理事より、東海北陸6県(愛知、岐阜、三重、富山、石川、福井)の自治体防災部局等との連携を図るため、平成20年から実施されている連絡会同。今回、南海トラフ巨大地震を想定として、各自治体等の取組状況について発表が行われたと報告された。

6. 平成25年度愛知県・名古屋市国民保護共同実働訓練〔1/28(火)〕について

(愛知県、名古屋市主催・瑞穂公園 他)

稲坂理事より、国民保護法に基づく実動訓練が、愛知県（名古屋市瑞穂公園・第二日赤・中京病院・昭和スポーツセンター・愛知県庁）で初めて実施された。医療関係団体の参加は、DMAT（8チーム）、第二日赤、中京病院、日赤愛知県支部、名古屋市医師会、本会であったと報告された。

7. 健康教育講座〔1/21(火)〕について

(愛知県医師会主催：9階大講堂)

吉田理事より、「白内障手術—私はいつ受けようかな?—」と題して、名古屋市立西部医療センター眼科部長中沢陽子先生に講演いただき、331名の参加があったと報告された。

8. 「これからの難病研究～新しい治療法の開発～」〔1/19(日)〕について

(一般財団法人日本予防医学協会主催：JA 共済ビル カンファレンスホール)

大輪理事より、研究成果発表会には、難病患者や家族、関係者ら約200名が参加された。難病対策の法制化の概要、iPS細胞を用いた病態の解明・治療法の確立、神経・筋疾患による運動障害に対して、新たな支援機器として生体電位駆動による装着型ロボット(HAL)の開発などの幅広い研究分野からの報告があった。会場より、今後の難治性疾患の治療法の開発に対する期待と、今後の難病対策に対する不安について活発な質疑応答が行われたと報告された。

9. 平成25年度 愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)事例検討会(第3回)〔1/18(土)〕について

(愛知県医師会主催：鯉城ホール)

大輪理事より、10周年の特別講演として日医藤川常任理事より講演いただき、その後、事例報告、質疑応答を行い、講師・役員含め356名の参加者があったと報告された。

10. 愛知県医師会会員相談窓口第4回事例検討会〔1/27(月)〕について

(愛知県医師会主催：801会議室)

大輪理事より、案件76件(うち診療報酬に関する相談43件)について協議したと報告された。

柵木会長より、相談件数について質問され、大輪理事より、相談件数は増加しているが、同じ案件の相談であればその場で回答が出来るようになっていると回答された。

柵木会長より、苦情相談の件数について質問があり、大輪理事より、あまり変化はないが、相談員の段階で納得するケースが増え、専門医への相談件数は減っていると回答された。

加藤理事より、各相談件数は増加しているが、医療安全に移行する事例に変わりが無いことは、苦情相談、会員相談事業が上手くいっているということであると発言された。

柵木会長より、相談事業の効率化を図る必要があると発言され、横井副会長より、事例集が類型化されていて、業務の蓄積により事務の効率化が図られると発言された。

細川理事より、他県においても事例集は評価が高いと発言された。

1 1. ケアマネジャー等のための医療知識向上推進事業 第1回セミナー・ワークショップ検討事業による検討委員会〔1/21(火)〕について

(名古屋大学大学院医学系研究科主催：名古屋大学医学部附属病院)

樋口理事より、委員長に植村教授、副委員長に樋口理事が就任され、地域医療再生基金事業で年4回開催予定。相談窓口事業が1月6日(月)に開設され、月曜日から金曜日の午前9時から午後5時まで開設されている。また、各年度6回以上ケアマネジャー向けワークショップを開催することになったと報告された。

1 2. 平成25年度在宅医療従事者能力向上研修会〔1/26(日)〕について

(国立長寿医療研究センター主催：あいち健康プラザ)

樋口理事より、在宅医療・介護連携について市町村が主体的に取り組む重要性の理解と、地域の多職種連携ネットワークの構築を目的に開催され、医師や看護師等の多職種、行政を含め290名の出席があったと報告された。

柵木会長より、医師の出席者数について質問され、樋口理事より約50名であったと回答された。

1 3. 愛知県結核対策推進会議〔1/22(水)〕について

(愛知県主催：愛知県東大手庁舎)

額額理事より、結核患者は年々減少し、平成24年度新規登録は1,419人、罹患率19.1であった。名古屋市も減少し、政令指定都市で4位であった。内訳は70歳以上の高齢者、20代の外国人が増えている。対策プランの目標値に対し、2項目以外はほぼ達成された。問題点として、いくつかの合併症を伴う結核入院患者の受け入れ態勢が不十分であることが指摘されたと報告された。

1 4. 各種委員会・部会について

A) 勤務医部会幹事会〔1/22(水)〕について

(803・804会議室)

伊藤(健)理事より、愛知県勤務医師生活協同組合、平成25年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会、日本医師会第4回病院委員会について報告した他、「医療勤務環境改善支援センター(仮称)」及び「地域医療支援センター」について意見交換を行ったと報告された。

柵木会長より、愛知県勤務医師生活協同組合の構成について質問され、伊藤(健)理事より、医師会員でない医師も含めた勤務医であると回答され、また、入会のメリットについて説明された。

B) 第9回愛医総研委員会〔1/24(金)〕について
(5階医師連盟会議室)

伊藤(健)理事より、地域医療再生調査研究事業の進捗報告として、追跡調査の分析結果および阻害因子に関する説明や考察の纏め方、イエローカードシステムの試行運用(東郷町)に係る評価報告があった。また、「愛知県医療計画に係る組織見直し」では組織体制の改編図案を基に最終確認を行った。その他、第6次医療法改正案における重要案件について近隣県、類似県の実施状況や動向等を踏まえ議論を行ったと報告された。

C) 産業保健部会幹事会〔1/24(金)〕について
(6階研修室)

西山理事より、日医認定産業医研修会(平成26年4月～平成26年9月分)、各地域産業保健センターの現状報告と問題点について協議・決定した。また、産業保健三事業一元化について、愛知労働局より説明があったと報告され、産業保健活動総合支援事業の標準的な実施体制について資料に基づき説明された。

15. その他

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成26年1月30日